

一 會社組合交渉状況

自蒲東横濱鐵道業員組合側ニアリテハ既報ノ通り出札樹権勇
一辯職勧告取消方ニ就キ去ル五月十九日會社ニ交渉セルカ根
絶セラル、ヤ更ニ至二十日午後二時會社ニ至リ三上運輸課長
ト會見権勇、辯職勧告ニ作成博上、理由ナニヤ詳細其一理由
ニ説明セラレ度シト交渉、ヨルニ握後セラル、ヤ説明不能ノ理由
由ニ基ク辯職勧告ハ不當ノ分ナリト主張交渉破裂組合側ハ衆
後、態度ヲ決定ス、シ即日組合臨時大會開催ヲ計画セルカ尚
一處、庶務課長、態度ニ見ル、要アリトナシ翌廿一日午前十時
會社ニ於ニ會見同シク久今取消シ候、顧ニセラニ会議長ハ要ハ握
勇ニ於ニ任意辯職ノ形式シ取リ會社及組合双方、立場ヲ先ツ
ルニ於テハ組合側ニ於ニ翼存ナキセト實ニ組合側ニ於

ニモ甚ノ場合ハ止ムニ得サルヘキ旨回答セラルニ以ニ会議長ハ
然ル上ハ副係課長等ト考慮、上適當、又置シ講スヘク約マツ
爲メ代表等ハ之ヲ詣トシ全十一時辯吉セリ

二、双方ノ意向及將來、豫測

1. 會社ニアリテハ前叙組合側トノ交渉ニ基ニ握勇ニ對スル如公

現在三共株式會社勤務、池田吉彦ハ姓ノ伯父ニシテ久留代議
士、照会ニ向シ之公取消方廻復シ末リ店レルラ幸ヒ一ヶ月
乃至二ヶ月位一向ニ於ニ自發的辯職ニシハコトニ條件トシ
テ会人ニ身許引請フ爲サシメ其一間會社ハ一時辯職勧告人公
ヲ取消シ改札料等ニ轉動シシムル一方針ニテ考慮中ニアリ
組合側ニアリテハ権勇、平素一行動上辯職ハ久止ムノ律サル
天ノ林會社ニ於ニ組合、面目ニ立ツルニ於ニハ之ヲ承認ス